



会長就任にあたって

我輩は下戸である。酒は一滴も飲めない。ふるさとの便りには『寒仕込み』なる酒の話が載っている。ふるさと長野県池田町は、わずかな地域の中に2つの酒造を有する『酒の町』。北アルプスからの伏流水と信州の厳しい冬、伝統の蔵人の技が織りなす銘酒が寒仕込みを終えて出来上がったとの事。

日本酒はまず、米を麹菌の酵素のよって糖分に変え、酵母を加えて発酵させて醸造する。[一麹(一麹)、二もと(にもと)、三造り(さんつくり)]といわれる。精米、蒸米、麹造り、酒母(もと)造り、段仕込み、もろみ造り、火入れなど手間を惜しまない作業が『うまさ』を生む。

段仕込み一つとっても「初添え」、「仲添え」、「留添え」があり、酵母だけを育てる繊細な技が光る。夏の好天(米の出来)と厳しい冬(寒仕込み)が上々の酒を授けると書いてある。

杜氏など職人の技が品質を決めることになる。一つ一つの過程を知れば知るほど職人の『粋』を感じる。では、この『粋』はどこから来るのだろうか? 好天や気温など自然を敬う姿勢、直向きの情熱、一つ一つの過程の丁寧さが、他人から見て粋に写るのだろうか?

この姿勢は、我々技術を生業とする全ての人に当てはまることと思う。世間から見て『粋』を感じる放射線技師は創造し難いが、人との接し方、情熱、丁寧な仕事など見習う点は多い。

会長就任にあたって職人の気概を省みながら方針を進めたい。

平成18年 横須賀・三浦放射線技師会の取り組み

1) 情勢

少子化及び急速な高齢化による医療費の増大、保険支出の増大等。また、経済の低成長の中、保険収入の停滞、医療保険財政の赤字構造が問題となり、行政の指導による医療制度改革が実施されている。このことは、利用者には給付の引き下げ、負担の増大となって現れ、医療施設には、医療費の抑制・財政基盤の構築を余儀なくさせている。

永年日本の3大バックボーンとして君臨した(自由開業医制 すみ分け・機能分化 出来高払い制度 一部包括化(DPC 導入) 国民皆保険制度 財政

破綻・負担の増大)各種制度は改定が勧められている。

2) 医療機関を取り巻く変化

大病院は入院機能を特化させ中小病院との機能の分化がすすみ、急性期病院への定額制の導入など医療費の抑制(財政基盤の確立)医療の標準化、効率化が求められています。

取り分けDPCの導入・診療報酬の改定は、何時・どの様な機器で・どの様な手順で・どの段階で(外来or入院)検査を実施するかで、その施設の収支が違ってきます。施設としては財政基盤の確立の上では重要視されますし、CTやMRI等の予約検査は従来からの予約方法からクリニカルパス等の導入及び外来重視の検査方法に変更を余儀なくされてきます。

また、急性期病院の淘汰・選別・生き残りが進む事になります。

3) 横須賀三浦放射線技師会の役割

組織の基本的な考え方

横須賀・三浦放射線技師会は横断的な組織であり、淘汰・選別を進めるものではなく、情報を共有、協力し医療の向上に貢献する事を目的にする組織です。また今後もそうありたいと考えます。

被ばく線量管理

セカンドオピニオン等受ける側の姿勢も変化し、社会的使命である放射線被ばくの削減や被ばく歴の管理など一施設の問題ではなく、横断的な組織の役割と理解する事が出来ます。協力して進めることが重要です。

医療の電子化

医療の効率化・質の確保、ただし人は増えない状況下で唯一補完する事業として医療の電子化が進められています。RIS・PACS・ネットワーク等情報を共有し会員、施設に反映する事が重要と考えます。

对外活動の強化

医師会・横須賀市等の主催する被ばく医療訓練協力など对外活動は実績が認められ年々高い評価を得ています。昨年より災害訓練を想定し救急センターが一次救護所となる場合を想定し訓練に参加しました。経営主体が市から医師会に移行しその結びつきは一層強化されています。これら对外活動を引き続き進めます。

交流と学習会活動

学習会と宴会は切っても切れない関係、これが従来からの当技師会の底流でした。知識を追い求めるに留まらず生きた情報を交流の中から掴み取る事が出来る点が当会の最大の良い点ではないでしょうか?社会情勢は『生き残りを賭けた状況』ではありますが、『地域に生きる・職場に生きる』活動を進めます。

基本活動（課題）

【理事会】を定例的に開催し、会員相互の親睦と交流に努めます。【広報活動】は、印刷製本に財政破綻をきたす状況が見られます。カラー印刷の縮小等相違工夫が求められます。また、会員相互の支援が大切です。【福利厚生】活動は行事設定から景品負担まで、担当者の犠牲的努力によって維持されています。若い人の参加を引き続き求めていく必要があります。【学術】技術の維持向上を中心に取り組まれています。今後は社会的な要請でもある診療報酬体系・医療制度体制・医事、薬事・MRM 活動・業務改善活動等幅広く取り組む事が考えられます。

某日某所の CR 研究会は 爺^{じい}ばかりの集まりとなりました。次々と来る人をも平均年齢を下げるには至りませんでした。若い会員・女性技師の会員の活動をどの様に保障していくかが課題といえます。

そのほかにも多くの活動がありますが、担当役員を中心に築いてきた実績を維持し活動します。具体的な活動は第 1 回理事会に決定し取り組みます。

4) 結びに

我々を取り巻く環境は大きく変化しています。従来^{ほくとつ}の真面目で朴訥に学習活動を進める技師像から、経済や制度、マネジメント等幅広い知識、活動が求められています。ある意味我々は変わらなくてはいけない時期にさしかかっています。ダーウィンの進化論に『賢いものだけが生き残るのではない』『強いものだけが生き残るのではない』『変わるものだけが生き残ることが出来る』とあります。現状の制度改革などの変化は『好きか嫌いか』で言えば多種多様な意見があります。社会の要請と考え柔軟に対応できる事が大切です。